

# ももの里温泉 源泉ポンプ取替工事

## 特 記 仕 様 書

令和7年度  
笛吹市 市民生活部 市民活動支援課

## 目 次

	頁
第1章 総 則	1
第1節 一般事項	1
第2章 機械設備一般仕様	3
第1節 一般事項	3
第2節 工事一般仕様	4
第3章 機械設備工事	5
第1節 源泉ポンプ設備	5
第4章 試験および検査	8
第1節 一般事項	8
第2節 機械設備機器の試験	9

## 第1章 総 則

### 第1節 一般事項

#### 1.1.1 適用範囲

本特記仕様書の適用範囲は、「ももの里温泉源泉ポンプ取替工事」に適用するものであり、本仕様書に定めていない事項については監督員との打合せにより決定するものとする。

#### 1.1.2 工事名

ももの里温泉 源泉ポンプ取替工事

#### 1.1.3 工事場所

笛吹市一宮町金沢640番地2

#### 1.1.4 工期

契約翌日 ～ 令和7年10月31日

#### 1.1.5 法令、条例等の適用、諸官庁への手続き

本工事に関係ある法令、条例等はよくこれを遵守し、関係諸官庁等に対する必要な届出、手続き等は請負者がこれを代行するものとする。

#### 1.1.6 準拠規格

本工事に使用する機器材料は、下記の現行標準規格等に準拠するものとする。ただし、特に指定ある場合はこの限りではない。

- (1) 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）
- (2) 日本産業規格（JIS）
- (3) 日本電気規格調査会標準規格（JEC）
- (4) 日本電機工業会標準資料（JEM）
- (5) 日本電線技術委員会標準資料（JCS）
- (6) 電気設備技術基準（経済産業省）
- (7) 内線規程（日本電気技術規格委員会）
- (8) 電気設備工事共通仕様書（国土交通省営繕局監修、営繕協会編）

#### 1.1.7 機器、材料の検査

- (1) 本工事で使用する機器、材料等で本市が検査を要求するものは、請負者はこれに応じること。
- (2) 主要機器のうち本市が指定するものは、受入検査等を行なうこと。

#### 1.1.8 安全衛生管理

- (1) 本工事の施工にあたっては、労働安全衛生に関する法令を遵守し、就業者に対して常に徹底させ災害防止に万全の策を講じること。

#### 1.1.9 試験調整

現場据付工事完了後、監督員立会のもと、各機器設備の単体試験および総合試験を行い、設備全般の機能が完全に発揮できるように調整すること。

1.1.10 竣工検査および受渡し

- (1)本工事の完成にあたっては、関係官公署等の検査後に本市の竣工検査を受けるものとする。なお、竣工検査の際には機器・現場試験の試験成績書を提出すること。
- (2)竣工検査において指摘事項があった場合は、速やかに改善し、再度検査を受けるものとする。
- (3)本工事の受渡し期日は、立会試験および竣工検査に合格した後とする。

1.1.11 材料保管

本工事竣工までの機器、材料の保管責任は請負者にあるものとする。

1.1.12 保証期間

本工事の保証期間は、受渡し完了後2ヶ年とする。保証期間中に、請負者の責任に帰すべき原因による故障が発生した場合、請負者は本市の指定する期間内に取替または修理すること。

1.1.13 完成図書

工事完了後下記の図書を整備し、製本のうえ提出すること。

- (1)施設設備完成図書
- (2)主要機器取扱説明書
- (3)工事写真
- (4)官公署ほか提出書類控
- (5)その他監督員の指示するもの

1.1.14 積算条件

本工事の積算は、「さく井・改修工事標準歩掛資料」を準用している。  
本工事の施工地域区分は、「市街地」とする。

## 第2章 機械設備一般仕様

### 第1節 一般事項

#### 2.1.1 規 則

本工事に使用する機器はJIS・JEM・JEC各規格に準拠するもので、本章の仕様によること。

#### 2.1.2 単 位

単位はSI単位によること。

#### 2.1.3 付属品

各機器の付属品は、本仕様書に記載されているものの他、請負者において運転上必要と認めるものはすべて付属すること。

#### 2.1.4 塗装色

塗装色は、原則としてメーカー標準色とする。

#### 2.1.5 周波数

本地区は50Hz地区につき、定格周波数は50Hzとする。

#### 2.1.6 荷造りおよび輸送

荷造りは厳重に施し、防湿処理を完全に行い、天地無用の品にはその旨を明記し、適当な転倒防止の方法を講じること。

#### 2.1.7 製作連絡

他工事と関連のある場合は、他工事の関係者と密接に連絡を保ち、全体として調和のとれたものとする。

## 第2節 工事一般仕様

### 2.2.1 機械据付工事

- (1)機器据付位置、据付方法は既設通りとする。
- (2)各機器の詳細な据付位置の決定にあたっては監督員と協議し、監督員の承認を得てから据付けること。
- (3)機器の据付にあたっては、ポンプが水平に据付かるように井戸蓋の水平を調整の上、据付けること。
- (4)弁類の据付にあたっては、前後の配管と側管の取付等に注意し、水平または垂直に据付けること。

### 2.2.2. 配管工事

- (1)揚湯管は既設品を再利用するため、既設引き上げ、再設置の際には、その取扱いに十分注意すること。
- (2)工事に伴い引き上げ時に管体に亀裂その他の欠陥の無いことを確認すること。
- (3)管の据付にあたっては、水平器等を使用し中心および高低を確認し、据付けること。
- (4)管の接合にあたっては、ゆるみ脱落等ないように確実に施工すること。

### 第3章 機械設備工事

#### 第1節 源泉ポンプ設備

##### 3.1.1 概 要

本工事は既設温泉施設の老朽化に伴う改築工事を行っているため、その期間中に併せて源泉ポンプの更新を行うものである。

##### 3.1.2 設備機器

(1)源泉ポンプ	1 台（支給品）
(2)中間揚水管	36 本（撤去・再利用）

##### 3.1.3 工事範囲

本工事に含まれる工事範囲は下記の通りとする。

- (1)3.1.4(1), (2)に記載の機器の取替工事
- (2)既設源泉ポンプ 有価物搬出
- (3)その他上記に伴う諸工事

##### 3.1.4 機器仕様

###### (1)源泉ポンプ（支給品）

(A)数 量	1台
(B)形 式	深井戸用水中ポンプ
(C)口 径	50mm
(D)吐 出 量	0.16 m <sup>3</sup> /min (0.30m <sup>3</sup> /min)
(E)全 揚 程	57m (27.5m)
(F)回転速度	3,000min <sup>-1</sup>
(G)電 動 機	3.7kW 3P 200V 50Hz
(H)付 属 品	一式

###### (2)中間揚水管（撤去・再利用）

(A)数 量	36本
(B)口 径	50mm
(C)材 質	グラスファイバー
(D)長 さ	8,900mm

##### 3.1.5 工事詳細

本工事の範囲は下記とし、詳細は設計書を参照する事。

- (1) ポンプ取替工事           ×1式   （源泉ポンプ）
- (2) その他必要とする工事   ×1式

## 第4章 試験および検査

### 第1節 一般事項

#### 4.1.1 試験

- (1)現場据付・配線工事完了後、次の試験を行う。
  - (A)配線：絶縁抵抗試験
  - (B)器具：絶縁抵抗試験・絶縁耐力試験
  - (C)その他運転に必要な試験
- (2)試験は原則として監督員立会のうえ実施するものとする。
- (3)試験用器具および試験に必要な一切のものおよびこれに要する消耗品は、すべて請負者の負担とする。
- (4)試験方法、その他試験の詳細については、協議により決定する。